## ■点検調書 別紙2 様式1様式2 様式1 橋梁名·所在地·管理者名等 起点側 緯度 34°17′7″ 橋梁ID 経度 133°47′5″ 34.28527 橋梁名 路線名 所在地 汐見橋 市道前塩屋町南北 丸亀市津森町字菰池 (フリガナ) シオミバシ 定期点検実施年月日 路下条件 代替路の有無 自専道or一般道 緊急輸送道路 占用物件(名称) 管理者名 丸亀市 2019.7.30 定期点検者 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入) 備考(写真番号 変状の種類 判定区分 ( I ~Ⅳ) 応急措置後の 判定区分 応急措置及び 判定実施年月日 価号(子具番号) 位置等が分かる ように記載) 応急措置内容 部材名 に記載) 写真1、主桁02 上部構造 主桁 腐食 П 横桁 腐食 写真1、横桁02 床版 ひびわれ・漏水・遊離石灰 写真2、床版01 Π 下部構造 Ш 剥離 写真4、下部構造03 写真3、支承0202 支承部 腐食 Ш その他 道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) (所見等) 鋼部材は全体的に腐食が見られる。 床版にひびわれ、漏水、遊離石灰。橋脚に大きな剥離が見られる。 全景写真(起点側、終点側を記載すること) 架設年次 橋長 幅員 1962年 27m 2.0m 橋梁形式 鋼H桁橋(耐候性) 起点 ※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 様式2 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 上部構造(主析、横桁) 【判定区分: II 写真2 写真1 主析02 横桁02 支承部【判定区分: Ⅲ 】 下部構造【判定区分: Ⅲ 】 写真3 写真4

支承0202

下部構造03

